＝あいさつ誰にでも＝

市内在住の木下堯(たかし)さんはふるさとが山口県の農家出身で、駅から自宅まで田圃という町で、出会う人みんなにあいさつをするのがあたりまえの環境に育ちました。

狭山に住むようになって、あいさつする人が少ないことに寂しさを感じていました。そこで、自分からあいさつするように決めて実践しています。

朝出会う子ども・大人、区別なく自分からあいさつする。

小学生は、すぐにあいさつを返してくれるようになりますが、大人の場合、なかなか返してくれない。あいさつを返してもらうことが目的ではないので、気にしないで繰り返します。

何度あいさつしてもいっこうに返事がない人がいました。ある日、突然返事が返ってきた！１３年かかりました。やっていて良かったなと思ったものでした。その後は、その人とは普通にあいさつをするようになりましたが、ある時、うっかり気が付かないでいたら、その人から先にあいさつされてしまったそうです。

最初は恥ずかしくてあいさつができないときでも、一度あいさつを交わすと、後はスムーズに行くようです。

＝あいさつの心がけ＝

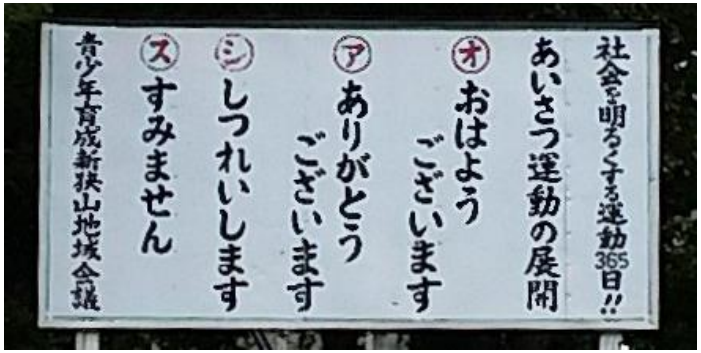
あ 明るく、さわやかに

い いつでも、どこでも、誰とでも

さ 先に、先手で

つ 続けて、ねばり強く

『「話す力」が面白いほどつく本』（櫻井弘著）より



東三ツ木公園内にある「あいさつ運動の展開」の看板

発 行 日	2017（平成 29）年 11 月 1 日
さやま市民大学	地域ジャーナル講座 4 期生
指導講師	澤野久美子
編 集 長	宮野 初仁
編集スタッフ	高橋　茂夫

さやまステキ発見
狭山の
あいさつ運動

小学校の運動会での「あいさつダンス」

＝あいさつ運動＝

狭山市の水富地区の小学校、中学校では、運動会などの行事の時「あいさつってすばらしい」「ありがとうの気持ち」の歌を全員で合唱し、あいさつ運動を実践しています。幼稚園の時に、みんなでこの歌を歌っているので、小学生になったときには全員歌えるようになっているということです。

運動会のプログラムに「あいさつダンス」があり、あいさつを体で表現しています。

入間川の河川敷にある広瀬運動公園の脇に「あいさつの歌」の看板があり、市民にあいさつの重要性を知らせています。

広瀬運動公園脇にある「ありがとうのきもち」の看板

広瀬運動公園脇にある「あいさつってすばらしい」の看板

あいさつってすばらしい

作詞　椎葉ハンナ
作曲　笠松泰洋

1. おはよう　こんにちは　こんばんは
いろんなあいさつ　あるけれど
元気なあいさつ　いちばんいい
あいさつって　うれしいなぁ
あいさつって　気持ちいいなぁ

2. ありがとう　ごめんね　だいじょうぶ
いろんな言葉があるけれど
やさしい言葉をかけあおう
やさしい言葉は　うれしいなぁ
やさしい言葉は　気持ちいいなぁ

3. よろしく、すみません、さようなら
いろんな言葉があるけれど
言われる前に　言ってみよう
笑顔が見れて　うれしいなぁ
笑顔が見れて　気持ちいいなぁ

ありがとうの気持ち

作詞　原ひなの
作曲　笠松泰洋

ころんだら
手をかしてくれたよ
泣いたら
助けてくれたよ
あいさつしたら
おかえししてくれたよ
ひとりでいたら
声をかけてくれたよ
いじめられた時
助けてくれたよ
とてもとても
うれしかったよ
とてもとても
安心したよ
とてもとても
あたたかい気持ちになったよ
そんな時は
心の中で
ありがとうと言っているよ